



東京2020大会と 大阪・関西万博との連携

2019年11月26日（火）

大阪府知事 吉村 洋文
大阪市長 松井 一郎

大阪・関西万博にかかる主なスケジュール

年	2018	2019			2020		2021	2022	2023	2024	2025
スケジュール	11/23 開催国決定	1/30 一般社団法人博覧会協会設立	10/21 公益社団法人移行	11月～12月 ロゴマーク公募	年内 登録申請書提出(目標)	春頃 ロゴマーク策定	6月 BIE総会(登録申請書の承認)(目標)	秋頃 基本計画策定	10月～4月 ドバイ博「登録博」 	1月～4月 ブエノスアイレス博「認定博」 	5月～11月 ※数週間の前倒しを検討中 大阪・関西万博開催
								正式な参加招請の開始			
		会場整備計画の検討		法令手続き	実施設計	会場建設工事					

1. 「未来社会の実験場」の実現に向けた取組

○ 地元パビリオンの出展検討

- ・大阪府・市共同で「有識者懇話会（仮称）」を設置し、出展テーマや展示内容等について様々な有識者の意見を伺いながら検討を進める。

○ 規制緩和

- ・未来社会の実験の場にふさわしい最先端技術や、それを実現するための規制緩和提案の内容を踏まえ、国に必要な法令措置を求める。

2. 機運醸成に向けた取組

○ G20大阪サミット、ラグビーワールドカップ等の大規模国際イベントでの万博開催PR

- ・G20大阪サミットにおいて各国の首脳や海外のマスコミ関係者に対しPRを展開。
- ・ラグビーワールドカップにおいて、東京都内のファンゾーンでもPRを展開。
- ・東京2020大会、ワールドマスターズゲームズ2021などでも積極的にPRを実施。

○ ドバイ万博での大阪・関西万博のPR

- ・協会や国、経済界とともに、来年10月から開催されるドバイ万博における参加招請とあわせてPRを展開。



G20大阪サミット
国際メディアセンター
情報展示スペースでのPR

3. 万博のインパクトを活かした大阪の将来に向けた取組

○ 「万博ビジョン」の策定

- ・府として、今年度内に「万博ビジョン」を策定し、万博の成功に不可欠となるアクセスの整備や防災対策の向上、先端技術の実装など、様々な準備を加速。
- ・2025年のその先の未来を見据え、SDGsの達成への貢献やスマートシティの構築、10歳若返りに向けた取組みなど、新たな施策展開を図る。

大阪・関西万博に向けた連携・協力

■大阪・関西万博を東京2020大会後の大阪・関西・日本の成長を牽引する起爆剤に

- 東京2020大会以降、大阪・関西はもとより全国的な機運醸成を図っていく。
- あわせて、東京2020大会の成功体験・レガシーを活かして、大阪・関西万博の成功へつなげる。



大阪・関西万博に向けて連携・協力をお願いしたい事項

項目	内容例
機運醸成の相互連携	<ul style="list-style-type: none"> ○東京2020大会と万博のコラボによるP R 【大会開催期間前・期間中】 ○東京都内における万博PR強化 【大会開催期間終了後】
東京2020大会のレガシー (経験、ノウハウ) の共有	<ul style="list-style-type: none"> ○スムーズビズの実施 ○SDGs (持続可能性) に配慮した調達コードの策定 ○東京2020大会開催期間中の安心・安全確保策 ○東京2020大会会場等での暑さ対策の検討 ○ボランティア確保策